

浅茅野 CS 通信

題名募集中!

学校と保護者と地域でつくるお便り [お試し号]

浅茅野小コミュニティスクール

令和2年5月15日(金)

今、なぜ、「想像する子の育成」なのか？

猿払村立浅茅野小学校長 荒谷 卓朗

1 想像しないでください。「梅干し」

すでに、頭の中には、梅干しが浮かんでいることでしょう。

「しないで」と否定されても、「梅干し」という言葉を聞くと、脳はイメージしてしまうのです。

健全な心身を保つためには、「～してはいけない」言葉よりも、「～してほしい」つまり望ましい状態をイメージする言葉かけ・関わりが大切です。

最近、ふと、子どもたちがもらす言葉にヒントがあります。

「コロナが心配・・・」



2 プラスの関わりを増やす

先日、保護者の方にお子さんへの関わりについて伺いました。

「不安になるような情報が入ってこないように、テレビはつけないように気をつけています。そして、朝勉強する、外で遊ぶなど、生活リズムを整えるようにしています。」

ネガティブなイメージの言葉は脳に入れない、プラスのインプットが増えるように工夫されている点が素晴らしいなあと思いました。

脳は知的な情報を好みます。「おもしろい」「なぜだろう」「不思議だ」というインプットで、アイデアがひらめく、「やってみよう」「つくってみよう」「挑戦してみよう」など、意欲がわいてきます。特に、読書は、これまで知らなかったことを知る環境づくりに最適です。なぜなら、文字・言葉から映像化して考えるからです。つまり、想像する力が養われるということです。

想像してみてください。読書をしている子どもの姿を。すると言葉かけも変わってきます。

「以前読んだ物語、スリルがあって、とっても元気になったのさ。」

タイトル何だったかな？」

と面白そうにつぶやくと、「見つけた!この本じゃないの?」と興味を示すかもしれません。



3 オフライン生活の充実を!

最近、在宅ワークを求められ、体調を崩す方が多いようです。人に会えない今、オンラインの会議や呑み会などで「コミュニケーションがとれる」利点もあります。しかし、これが朝から夜まで続いたらどうでしょう。「一日座りっぱなし」状態です。体調を崩してしまうことにつながりかねません。時間をきめて、心身がリラックスできる状態をつくる心がけが大切です。「リアルな生活をいかに充実させるか?」「今できる最善は?」と考えて、子どもたちに関わっていきたいですね。

親の声・子どもの声

今できる！わが家の工夫

横で見ているだけ。何を見て何を感じるかを見守っています。(熊谷さん)



みんな元気です！

学校の本を借りて読みました！(Aさん)
ブレイブボードに乗れるようになりました！(Bさん)
インラインスケートをやっています。(Cさん)
オンライン学習をはじめました。(Dさん)
朝食にフレンチトーストをつくりました。(Eさん)
ネットで、マスクの調べ物学習をしました。(Fさん)
なわとびの全道制覇にチャレンジしました。(Gさん)
いろんな生き物をつかまえたよ。(Hさん)
はたけのてつだいをしたよ。(Iさん)
漢字の勉強をがんばったよ。(Jさん)
犬の散歩にでかけたよ。(Kさん)
レタスがとれたっす！(だじゃれ協会会長Lさん)

みつけた！マイ＋プラス！

浜頓別の桜はもう満開。浅茅野はやっと咲き始めましたね！ほんのちょっと距離の違いなのか…長く桜を見られるのが私はお得かな…。アザミ&ヨモギを天ぷらにして食べました。苦いのが山菜らしいと思う私たち親ですが、わが子は「苦っ!!」と一口も食べられなかったです。[近藤]



出勤途中、色とりどりの花が増えてきました！Yくんのお母さんと、おしゃべりをして盛り上がりました！[藤田]

食べられる山菜が学校の周りにたくさんある事を知ることができた。アザミが食べられるなんて。[工藤]

何もしないのに桜は毎年必ず咲く！素晴らしい！[高橋喜佐夫]

娘が散歩の時、うれしそうに花を見たりさわったりしていた！[笹子]

『花がきれい』と思える心の余裕ができたことに気付いた。天ぷらをあげるスキルがあがった。(気がした。)[高橋(奈)]

体育館用具入れが少しずつキレイになって使いやすくなった！(はず)[井上]

アオダイショウと見つめ合った。つぶらな瞳が可愛かった。(Ara)

地域の方の声

「浅茅野の森」の思い出



浅茅野の森には子どもの感性を育む教材が満載ですね。タラの芽やウドも豊富ですよ。その土地でしかできない豊かな時間を満喫できることを祈ります。(Kaoru Tateno 様)

校門の影にある石碑は「願いをこめて」 広島原爆瓦を埋め込んだ当時の平和教育の象徴として建てられた石碑です。私が小学生の頃に建立されました。最初の建立場所は国道に近い場所でした。現校舎建設に合わせて移設されたのでしょうか。(46歳の地方公務員 様)

[編集後記]学校運営協議会 (CS) 会長の熊谷さんと、「親子の声、教職員の声、地域の方の声をリレーで交流できたらいいですね」とお話しして、本通信を発行することになりました。皆様のアイデアや声をお寄せください。⇒浅茅野小 CS 事務局 TEL5-7312 FAX5-7317 asajinosho@school-sarufutsu.jp